光と緑の風通信

看護学部ニュース・レター Vol.36

発行/2010年2月25日 編集/福島県立医科大学看護学部 〒980-1295 福島市光が丘1番地 TEL024-547-1111 (代)

学舎から旅立つ卒業生へ

人生の歩き方

中山 洋子

最近、私は米国カリフォルニア州ボルトマントンに在住している。米国の教育システムを経験してきました。また、在米生活を通じて、米国社会の文化を理解する機会をもとにしてきました。その経験は、今後の私の人生に多大な影響を与えることでしょう。

私は、看護学部において学んだ技術と知識を活かし、地域社会に貢献したいと考えています。米国での経験を通じて、地球の健康と福祉の向上に貢献したいと考えています。

卒業生に向けたメッセージ

ポストモダンのみなさんへ

志賀 令明

現在、私は米国カリフォルニア州ボルトマントンに在住しています。看護学部において学んだ知識と技術を活かし、地域社会に貢献したいと考えています。

私の経験を通じて、地域社会の健康と福祉の向上に貢献したいと考えています。

光と緑の風通信 vol.36
実習を通して学んだこと。

母性看護学実習について

1年間の授業を振り返って

授業を通して学んだこと。

感謝です

在学生の皆様へ

卒業生からのメッセージ

卒業生のみなさんへ

ご卒業

授業を通じて学んだこと。

大学生活を振り返って

在学生の皆さんへ

安心な環境を整え、

卒業生からのメッセージ

卒業生のみなさんへ

ご卒業
研究・活動紹介

平成21年度看護学部
公開講座委員会報告

第1回は「しまむらの安全・全医療を守ること」をテーマに開催されました。しまむらオフィス長の手掛けて、看護学部の学生が参加し、さまざまなテーマについて議論の場を提供しました。

第2回は「地域の医療・介護施設の連携」をテーマに開催されました。地域の医療機関とを連携し、地域の医療改善のための取り組みについての意見交換が行われました。

総合健康共立病院の看護士が、年4回の研修を行っています。看護学部の学生が実施する健康診断に参加し、実践的な経験を積むことができます。

4月 6日（火）
- 入学式

4月 6日（火）～7日（水）
- 新入生オリエンテーション

6月18日（金）
- 開学記念日

7月 3日（土）
- オープンキャンパス

新任の先生から

母に帰ってきて

10月1日より県職員として、15年ぶりの勤務を再開しました。過去の経験を活かし、地域の医療機関との連携を強化し、地域の医療サービスの向上に努めたいと意欲を示しました。

新任の先生から

よろしくお願い致します

11月より看護学部の助手として勤務を頂きました。私は本学5年生で、卒業後は東京の病院で看護師として働いています。この機会を活かし、学びの場となることを願っています。

新任の先生から

よろしくお願い致します

11月より看護学部の助手として勤務を頂きました。私は早稲田野氷川で生活しており、地域の医療機関との連携を強化し、地域の医療サービスの向上に努めたいと意欲を示しました。

退職された先生から

母に帰ってきて

10月1日より県職員として、15年ぶりの勤務を再開しました。過去の経験を活かし、地域の医療機関との連携を強化し、地域の医療サービスの向上に努めたいと意欲を示しました。

新任の先生から

よろしくお願い致します

11月より看護学部の助手として勤務を頂きました。私は本学5年生で、卒業後は東京の病院で看護師として働いています。この機会を活かし、学びの場となることを願っています。

新任の先生から

よろしくお願い致します

11月より看護学部の助手として勤務を頂きました。私は早稲田野氷川で生活しており、地域の医療機関との連携を強化し、地域の医療サービスの向上に努めたいと意欲を示しました。